



# 橋 戸

令和2年11月30日

学校だより 第9号

練馬区立橋戸小学校

校長 青木 俊哉

## “ GIGA ” は目の前に…！

校長 青木 俊哉

「GIGA（ギガ）スクール構想」という言葉が飛び交うようになりました。どこかで耳にしたことがある方もいらっしゃると思います。義務教育段階の子供（児童・生徒）一人に1台、学習で活用できるタブレット端末等の電子機器を配置する計画です。「Society（ソサエティ）5.0」時代と言われるこれからの世の中、社会全体にICTが活用され、情報化が推進された世界を生き抜く子供たちに必要な資質・能力を身に付けさせるために、文部科学省の主導で進められている事業です。今後、パソコン等の端末機器は、鉛筆やノートと並んで学習に必要なアイテムとなり、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなると言われています。当初の計画では、配布完了はもう少し先の予定でしたが、新型コロナウイルスへの対応に伴う子供たちの教育環境の整備が喫緊の課題となり、練馬区では令和2年度中に実現する運びとなりました。（中学生には年明けの1月から、その後順次各小学校へも配置されます。）

練馬区におけるオンライン学習に向けた環境は、現在整備中とのことですが、子供たちがタブレット端末を手にする時期までには、スムーズにオンライン学習等を進められるよう、準備しておく必要があります。端末の使い方や扱い方といった操作に関する実習、情報セキュリティに関する学習、やってよいこといけないことの確認、保管や持ち運び、充電について…など、子供たちへの学習はもちろん、保護者の皆様にもご理解いただく必要があります、それに向けた教職員の研修を徐々に始めたところです。せっかくの便利で有効・有意義な機器が室の持ち腐れにならぬよう、また不適切な使い方、困ったり困らせたりすることのないよう、対応していきます。準備にあたっては、大泉東地区の8校（橋戸・豊溪・大一・大東・大北・学園・泉新・八坂）が一体となり、GIGAスクール構想推進企業である教育ネット社を通し、経済産業省が推進する「EdTech（エドテック）事業」への申請を行いました。教育ネット社との連携・協力の下、タブレット端末の導入までは、パソコンルームのパソコンや、各教室のICT機器を活用し、学習や準備を進めていきます。オンライン学習とは違いますが、導入に向け必要な知識やスキルを少しでも身に付けさせたいと考えています。

さて、この構想の一環として、大泉東地区8校では、学校アンケートのオンライン化を試行します。例年、すべてのご家庭にアンケート用紙を配布してご記入いただいている学校アンケートですが、今年はインターネットを使い実施します。ご家庭にありますパソコンやタブレット、スマートフォンなどから、指定されたサイトにアクセスしていただき、オンラインで回答していただきたいと思います。（オンラインでの回答が難しいようでしたら、担任までお申し出いただければ、紙での回答もご案内いたします。）これまで行ってきた活動を、効率化や合理化、環境保護や働き方といった視点で見直し、改革につなげる一つの試みと考えます。また、5～6月にお願いした「臨時休業下での児童の生活実態調査」と同様、このようなやり取りに慣れていただくことも、タブレット端末配布後の学校と家庭との連絡や連携を考えるための、一つのステップになると思われます。

アンケートの詳細は、改めてメール配信等でお知らせしますので、しばらくお待ちください。なお、保護者アンケートの質問文には、「お子様は～」から始まる質問と、「橋戸小は～」から始まる質問がありますので、それぞれの主語に注意してお読みいただき、ご回答ください。

これまでと実施方法が変わることで、保護者の皆様にはお手数をおかけすることがあるかもしれませんが、これからの時代をにらんでの取組を、大泉東地区8校から練馬区内各校へと発信していきたいとも考えています。趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。